

1. 貸借対照表 令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【固定資産】	8,170,007,856	【固定負債】	136,844,000
(有形固定資産)	6,990,526,171	長期借入金	136,844,000
土地	3,574,257,332		
建物	2,883,329,364	【流動負債】	1,417,902,176
その他	532,939,475	短期借入金	21,052,000
(その他の固定資産)	1,179,481,685	未払金	166,540,196
長期貸付金	117,191,748	前受金	934,323,177
ソフトウェア	3,194,655	その他	295,986,803
その他	1,059,095,282		
		負債の部合計	1,554,746,176
【流動資産】	2,340,278,795	純資産の部	
現金預金	2,321,904,225	科目	金額
未収入金	8,839,078	【基本金】	10,801,878,227
その他	9,535,492	第1号基本金	10,625,878,227
		第4号基本金	176,000,000
		【繰越収支差額】	△ 1,846,337,752
		翌年度繰越収支差額	△ 1,846,337,752
		純資産の部の合計	8,955,540,475
資産の部合計	10,510,286,651	負債の部及び 純資産の部合計	10,510,286,651

2. 事業活動収支計算書 令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位:円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	金額
		学生生徒等納付金	1,551,148,731
		手数料	10,342,750
		経常費等補助金	97,363,600
		付随事業収入	80,920,394
		雑収入	92,823,306
		教育活動収入計	1,832,598,781
	事業活動支出の部	人件費	971,181,752
		教育研究経費	447,297,463
管理経費		376,522,331	
教育活動支出計		1,795,001,546	
教育活動収支差額		37,597,235	
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	金額
		受取利息・配当金	900,364
		教育活動外収入計	900,364
	事業活動支出の部	借入金等利息	928,908
		教育活動外支出計	928,908
		教育活動外収支差額	
経常収支差額		37,568,691	
特別収支	事業活動収入の部	科目	金額
		資産売却差額	0
		特別収入計	0
	事業活動支出の部	資産処分差額	0
		特別支出計	0
		特別収支差額	
基本金組入前当年度収支差額		37,568,691	
基本金組入額合計		△ 364,461,583	
当年度収支差額		△ 326,892,892	
前年度繰越収支差額		△ 1,519,444,860	
翌年度繰越収支差額		△ 1,846,337,752	

事業活動収入計	1,833,499,145
事業活動支出計	1,795,930,454

3. 財産目録 令和7年3月31日現在

(単位:円)

科目	明細	金額
【基本財産】		
校地	東京都渋谷区神宮前5-29-2他	3,574,257,332
校舎・建設仮勘定	東京都渋谷区神宮前5-29-2他	2,888,554,364
教具、校具、図書等	テレビ他	527,714,475
その他	長期貸付金他	1,179,481,685
【運用財産】		
現金・預金	三菱UFJ銀行他	2,321,904,225
その他	未収入金他	18,374,570
資産総額		10,510,286,651
【負債】		
固定負債	三菱UFJ銀行他	136,844,000
流動負債	三菱UFJ銀行他	1,417,902,176
負債総額		1,554,746,176
正味財産		8,955,540,475

監 査 報 告 書

令和 7 年 5 月 2 0 日

学校法人水野学園
理 事 会御中
評議員会御中

学校法人水野学園

監事

平賀康央 

監事

内藤 浩之 

私たちは、学校法人水野学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の令和 6 年度（令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動収支計算書）を含め、学校法人の業務、財産及び理事の業務執行状況に関し監査を行い、特に問題ないことをご報告いたします。

以上

令和 6 年度 学校法人 水野学園 事業報告書

I. 法人の概要

1.設置する学校・学部・学科等（令和 6 年 5 月 1 日現在）

（1）専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

ジュエリーデザイン科	ジュエリープロダクトコース ジュエリークリエイターコース アドバンスドジュエリーコース ウォッチメーカーマスターコース
クラフトデザイン科	シュー&バッグメーカーコース

（2）専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪

ジュエリーデザイン科	ジュエリープロダクトコース ウォッチメーカーコース ジュエリープロダクトコースⅡ（夜間）
ジュエリー研究科	クリエイティブジュエリーコース
スポーツ工学デザイン科	自転車メカニックコース

（3）東京サイクルデザイン専門学校

スポーツ工学デザイン科	自転車プロダクトコース 自転車クリエーションコース
-------------	------------------------------

（4）東京すし和食調理専門学校

和食調理科
和食研究科

（5）日本さかな専門学校

海洋生物学科
海洋生物研究学科

2.設置学校別学生定員数一覧（令和6年5月1日現在）

学校名	学科名	コース名	人数
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	ジュエリーデザイン科	ジュエリープロダクトコース	60 名
		ジュエリークリエイターコース	144 名
		アト・バンスト・ジュエリーコース	96 名
		ウォッチメーカーマスターコース	144 名
	クラフトデザイン科	シュー&バックメーカーコース	84 名
	計		528 名
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 大阪	ジュエリーデザイン科	ジュエリープロダクトコース	40 名
		ウォッチメーカーコース	40 名
		ジュエリープロダクトコースⅡ（夜間）	15 名
	ジュエリー研究科	クリエイティブ・ジュエリーコース	90 名
	スポーツ工学デザイン科	自転車メカニクスコース	56 名
	計		241 名
東京サイクルデザイン専門学校	スポーツ工学デザイン科	自転車プロダクトコース	108 名
		自転車クリエーションコース	108 名
	計		216 名
東京すし和食調理専門学校	和食調理科		120 名
	和食研究科		90 名
	計		210 名
日本さかな専門学校	海洋生物学科		144 名
	海洋生物研究学科		120 名
	計		264 名
総計			1,459 名

3.役員・教職員の人数（令和6年5月1日現在）

（1）役員

理事	7名
監事	2名

（2）教員

専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	44名
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	21名
東京サイクルデザイン専門学校	15名
東京すし和食調理専門学校	14名
日本さかな専門学校	9名

（3）職員

専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	25名
専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪	7名
東京サイクルデザイン専門学校	2名
東京すし和食調理専門学校	3名
日本さかな専門学校	5名

Ⅱ．事業の内容

1.専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

（1）教育目標

専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジは、「ジュエリー」「ウォッチ」「シューズ」「バッグ」での物づくりを通じて、社会の多様性を理解し、広い視野で物事をとらえる人材を育成することを教育目標として掲げている。

（2）進路状況（令和7年3月卒業生）

就職者数 85 名、就職希望者数 87 名、就職率 98%

（3）広報活動

厳しい学生募集環境の中、大学や総合系専門学校とは異なる「単科系専門学校」としての専門性の高い教育内容を、学校案内やホームページ、募集イベント等を通じて訴求し、募集活動を行っている。

2.専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪

(1) 教育目標

専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ大阪は、「ジュエリー」「ウォッチ」「自転車」での物づくりを通じて、社会の多様性を理解し、広い視野で物事をとらえる人材を育成することを教育目標として掲げている。

(2) 進路状況（令和7年3月卒業生）

就職者数 41 名、就職希望者数 42 名、就職率 98%

(3) 広報活動

厳しい学生募集環境の中、大学や総合系専門学校とは異なる「単科系専門学校」としての専門性の高い教育内容を、学校案内やホームページ、募集イベント等を通じて訴求し、2府4県を中心に募集活動を行っている。

3.東京サイクルデザイン専門学校

(1) 教育目標

東京サイクルデザイン専門学校は、「自転車」での物づくりを通じて、社会の多様性を理解し、広い視野で物事をとらえる人材を育成することを教育目標として掲げている。

(2) 進路状況（令和7年3月卒業生）

就職者数 36 名、就職希望者数 36 名、就職率 100%

(3) 広報活動

厳しい学生募集環境の中、大学や総合系専門学校とは異なる「単科系専門学校」としての専門性の高い教育内容を、学校案内やホームページ、募集イベント等を通じて訴求し、募集活動を行っている。

4.東京すし和食調理専門学校

(1) 教育目標

東京すし和食調理専門学校は、「和食」調理を通じて、「本物の日本料理を世界に発信する」人材育成することを教育目標として掲げている。

(2) 進路状況（令和7年3月卒業生）

就職者数 22 名、就職希望者数 22 名、就職率 100%

(3) 広報活動

厳しい学生募集環境の中、大学や総合系専門学校とは異なる「単科系専門学校」としての専門性の高い教育内容を、学校案内やホームページ、募集イベント等を通じて訴求し、募集活動を行っている。

5.日本さかな専門学校

(1) 教育目標

日本さかな専門学校は、さかなの飼育・調理加工・流通また海の環境などの専門知識及び技術を修得させ、日本の水産業の活性化を担う人材の育成を教育目標として掲げている。

(2) 進路状況（令和7年3月卒業生）

卒業年度生の在籍者がいないため実績なし

(3) 広報活動

厳しい学生募集環境の中、大学や総合系専門学校とは異なる「単科系専門学校」としての専門性の高い教育内容を、学校案内やホームページ、募集イベント等を通じて訴求し、募集活動を行っている。